

淡路島総合観光戦略（2023～2027年度）アクションプラン

資料1

令和5年10月6日現在

基本戦略（サステイナブル戦略）：「島内外から支持される観光地」をめざし、環境保全に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2023年度の取組		
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	自己評価
<p>◆持続可能な取組に配慮した観光地域づくりを推進するための意識啓発と取組の推進</p> <p>◆環境保全活動と観光を関連付けた取組の推進</p> <p>◆観光事業者だけでなく、島内各産業や住民に経済波及効果を与える「域内調達率UP」の推進</p> <p>◆観光を支える人材（外国人労働者、セカンドキャリアを求める者等）の確保と観光人材の満足度（ES）の向上</p> <p>◆年間の観光需要の平準化、平日の観光需要の喚起</p>	<p>○事業者や施設におけるSDGsに配慮した取組の公表などの見える化の促進</p>	SDGs推進宣言事業への参画	・ひょうご産業活性化センターが実施するSDGs推進宣言の事業を活用し、当該事業への登録等を促進する。	観光協会、島内商工会議所・商工会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流・観光課（観光）	SDGs推進宣言事業：淡路地域26社（全県617社）が登録済。観光協会等会員への呼びかけ等を通じて登録を促進する。		
		【3海峡クリーンアップ大作戦の活用】 3海峡クリーンアップ大作戦への参加	・渦潮世界遺産登録運動にて実施している3海峡クリーンアップ大作戦の参加を、観光協会職員及び会員事業所にも呼びかける。	観光協会	観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・各会員にSDGs推進宣言事業企業の登録、ひょうごSDGsHubへの参画を働きかけた。ひょうご産業SDGs認証事業に1社登録申請準備中		
		【3海峡クリーンアップ大作戦の活用】 3海峡クリーンアップ大作戦（又はその他の観光地クリーンアップ施策）の旅行商品化	・3海峡クリーンアップ大作戦に観光客も参加できる仕組みもしくは観光客参加型の旅行商品を作成する。 ・宿泊・観光施設と連携したインセンティブの付与や観光客が参加しやすい環境を整備する。	観光協会	県、3市、3海峡クリーンアップ大作戦実行委員会、観光協会会員、各旅行会社	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	・他地域等でのクリーン活動＋旅行商品の先進事例を調査。あわせてプラン実施者や販売方法などを検討。		
		○世界遺産登録をめざす鳴門海峡の渦潮の環境保全活動と観光が連携した取組の推進	さんぽDEゴミ拾い（うみぞら映画祭で実施中）の3海峡拡大	観光協会	実行委員会、施設管理者、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・令和5年10月14日～11月30日 島内全域で開催【運営事務局（瀬海空）】		
			「鳴門の渦潮」国際シンポジウムの開催	県、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会、観光協会	3市	準備	準備	実施	実施	実施	交流・観光課（渦潮）	2025年に「鳴門の渦潮」の普遍的価値を発信する国際シンポジウムの開催に向け、学術調査等の蓄積を継続するとともに、世界遺産登録に最適なアプローチ方法を探るための世界遺産登録検討会議を設置する。		
			JSTS-Dのガイドラインを活用した目標設定と推進	観光協会、県、3市	観光協会会員	準備	実施	実施	実施	実施	交流・観光課（観光）	淡路島総合観光戦略で取組むアクションプラン141項目に対し、JSTS-Dガイドラインに対応する項目を確認中	○	
			【SDGsコンテンツの活用】 ステップ1：淡路島ならではの豊富なコンテンツを生かしたSDGsコンテンツの可能性の洗い出し	観光協会	3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「太陽光発電の現状と未来」「かいぼり体験」「ゴミ（ペットボトル）アート」「流木や里山の木枝の焚火キャンプへの活用」など、87プログラムを洗い出し	○	
			【SDGsコンテンツの活用】 ステップ2：洗い出したSDGsコンテンツの有効活用方法の検討	観光協会	関連事業者	研究検討	準備	実施	実施	実施	観光協会	今後、洗い出したコンテンツの具現化に向けた磨き上げ、開発を事業者と一緒に進行	○	
			リジェネラティブツーリズムの推進（クリーンアップ活動等の観光コンテンツ化）	活動団体、観光事業者	南あわじ市	準備	実施	実施	実施	実施	南あわじ市商工観光課	3海峡クリーンアップ大作戦を市公式ホームページ等で掲載し、広く参加を呼びかける。 慶野松原ガイドツアーを実施する慶野松原根上がり隊では、ツアー参加者に松葉集め作業を体験していただく取組を行っている。	○	
			観光分野におけるフードロス削減の取組	事業者		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、島内事業者が取り組んでいる事例を収集する。		
	大浜公園の利用促進	洲本市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本市	・みんなで作る洲本市PRイベントを開催し、放置竹林から伐採した竹を活用した灯籠づくりを行い、作品のライトアップ及び大型ブランコを作成する。 ・日本発のイベント「パワービルディングコンテスト」の実施				

○観光と地域おこしが連携した取組の推進（先進事例の研究と実践方法の検討）	地域再生アドバイザー派遣	・有識者による指導・助言等の支援を行うことで、来島者を惹きつける地域の価値を再発見し、住民主体の地域づくりを促進する。	県	3市、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流潟湖湖課（多自然地域づくり）	南あわじ市1件派遣実績あり。		
	地域×企業×大学の「ひょうご絆プロジェクト」	・地域と企業や大学が連携し、企業・大学の持つ資源の活用や学生等の外部人材との交流により誘客につながるにぎわいづくり等の活性化を促進する。	県	3市、大学、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流潟湖湖課（多自然地域づくり）	5地域で実施（洲本3、南あわじ1、淡路1）		
	南あわじ市地域づくりチャレンジ事業	・地域づくり協議会が事業者等と連携し、地域課題の解決に向けて取り組む事業に対して支援を実施する。	南あわじ市	地域づくり協議会、自治会等のコミュニティ組織、企業、大学、NPO等	実施	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市市民協働課	チャレンジ事業として、八木地区、丸山地区、松帆地区、伊加利地区、福良地区が継続事業として実施、沼島地区が今回から新規事業として実施、計6地区で事業を実施する。		
	淡路市まちの魅力度アップ支援事業	・地域の課題解決の取組や交流促進事業等、地域住民が主体となり、まちの魅力度アップに取り組むことを目的とした事業を行う団体に対して支援を実施する。	淡路市	地域住民で構成する団体	実施	実施	実施	実施	実施	実施	淡路市まちづくり政策課	今年度は、地域の課題解決の取組や交流促進事業等、地域住民が主体となり、まちの魅力度アップに取り組むことを目的とした10団体（新規：4団体、継続：6団体）へ補助金を交付予定である。（R5.9.4現在）		
	【地域おこし協力隊の活用】 ステップ1：地域おこし協力隊と連携した地域ブランドの明確化とアクションプランへの反映 【地域おこし協力隊の活用】 ステップ2：地域おこし協力隊及び協力隊OBとの連携によるコンテンツの開発	・淡路島が向かう方向性を、地域を愛し深く考えるメンバーと定期的に協議を開始し、より正しい方向性に沿ったアクションプランに反映する。 ・上記のアクションプランに準じ、連携できる取組を着地型コンテンツとして観光協会HPから予約販売する。	観光協会	地域おこし協力隊、3市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年7月 洲本市地域おこし協力隊及びOBと意見交換を実施した		
○地元食材等の域内調達の改善（域内事業者が仕入れできる仕組みづくり）	地元食材域内調達改善取組委員会（仮称）の設置と改善策の取組	・地元食材域内調達改善取組委員会（仮称）を立ち上げ、改善策と方法を検討し、地元食材等の域内調達を進める。	観光協会	県、3市、飲食・宿泊施設、JA、漁協、関連各事業者（水産加工会社など）	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	今年度調査する域内調達率の結果をもとに、具体的な改善案を協会正副会長会及び部会長会で協議する。		
○あわじ環境未来島構想と連携した事業実施（教育旅行や視察旅行に適したプログラムの開発など）	【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ1：あわじ環境未来島構想の事業の中で、SDGsと観光に関するコンテンツの洗い出し	・あわじ環境未来島構想推進協議会と観光協会連携で、洗い出しを実施する（旅行会社に参加してもらうことも検討）。	あわじ環境未来島構想推進協議会、観光協会	旅行会社	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流潟湖湖課（未来島）	あわじ環境未来島体験ツアーの検討を通じて、コンテンツの抽出を行っている。	○	
	【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ2：あわじ環境未来島構想の観光プログラム化	・あわじ環境未来島構想が理解できる教育旅行、一般視察旅行それぞれに適したプログラムを他のコンテンツも含め組み合わせ作成し、その概要と手配方法を記載したwebページを作成する。	観光協会	あわじ環境未来島構想推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「淡路青船太陽発電所で太陽発電の現状と未来を学ぶ」コンテンツの洗い出しまで。今後、他のプログラムやコンテンツの洗い出しを進める。		
	【あわじ環境未来島構想の観光活用】 ステップ3：開発したプログラムの活用促進	・開発したプログラムを教育旅行は教育旅行社、一般視察は一般団体に活用を働きかける。	観光協会	あわじ環境未来島構想推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、さらにコンテンツを洗い出し、プログラム化後に実施。		
○公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	①交通事業者が取組む高速バスストップのリニューアルを支援する。 ②淡路島発着の公共交通乗換検索サイトを充実させる。	県	3市	支援	支援	支援	-	-	洲本土木事務所	①交通事業者が中心となり、施設管理者と協議を開始。 ②淡路島発着の高速バス等乗換検索サイト「バスモ」に路線バスや船舶等のルートを追加するとともに、観光地名からもルート検索できる機能を追加した。（令和5年7月1日公開）	○		
	EV充電インフラの整備、充実と広報活動	・EV充電インフラ整備を交通拠点や集客施設、公共施設に働きかけるとともに、整備（設置）状況を整理しマップ・HPでの広報活動を実施する。	県、3市、くにうみ協会	事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流潟湖湖課（未来島）	島内の道の駅設置者に対し、EV用急速充電器整備事業費を補助する事業を実施しており、設置者である淡路市・南あわじ市に対し、整備の働きかけを行っている。		

○サイクリングの普及促進、環境配慮型モビリティ（EV、FCVのバス・レンタカーなど）の導入に向けた実証実験	【EVレンタカー・カーシェアの導入促進】 島内宿泊施設等におけるEV充電器、EVレンタカーやカーシェアリングの導入促進	・今後の需要増加を見越して、島内宿泊施設等におけるEV充電器の設置を促進する。 ・二次交通に対応するため、EVレンタカーやカーシェアリングの導入を促進する。	観光協会	3市、宿泊施設・入場施設等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【EV充電器】 島内宿泊施設（20室20台以上駐車場保有）に導入を働きかけ（宿泊施設を軸に展開するエネチェンジ社のビジネスモデルを展開） 16基導入申請準備中 【カーシェア（5年度）】 洲本市管理駐車場（調整中） 南あわじ市6台（陸の港西淡3、淡路人形座3）予定 淡路市6台（道の駅東浦3、津名港3）予定 宿泊施設12台導入済み	○
	【EVレンタカー・カーシェアの導入促進】 EV導入助成制度	・EV導入助成制度利用促進の働きかけ及び告知・広報を実施する。	くうみ協会	民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	交流湯湖課（未来島）	事業者向けのEVの購入費又は車体リース料を補助する事業を実施している。（補助実績（9/13現在）：1件）	
	【EVレンタカー・カーシェアの導入促進】 EV公用車・社用車のシェアリング	・平日は、公用車や社用車で、休日は観光で利用できるEVカーシェアリングの導入を、島内で官・民が連携して取り組む。また導入にあたっては導入先進地への視察（ヒアリング）や関係部署との調整、運用規定の制定などを実施する。	県、3市、事業者		検討	準備	実施	実施	実施	交流湯湖課（未来島）	県民局公用車へのEVカーシェアリング導入を検討するため、先行する自治体へのヒアリングを行っている。今後、カーシェアリング事業者へのヒアリングを行い、導入の是非を検討する。	
	水素バス（FCV/バス）の導入促進	・FCVバス導入に向けて導入先進地の視察を実施する。あわじ環境未来島特区制度を活用して自動車会社に事業協力パートナーとして働きかけや、国助成制度を獲得し実証実験を実施する。水素ST：神戸・徳島	県、3市	バス運行事業者、→自動車会社など関係事業者	検討	準備	実施	実施	実施	交流湯湖課（未来島）	水大気課による水素ステーション設置検討に合わせ、水素バスの導入可能性について検討する。	
	大鳴門橋に開通する自転車道を活用した新たなサイクリングルートの開発	・令和9年開通予定の大鳴門橋自転車道を活用し、徳島（四国）とつなぐ広域のサイクリングルートを開発する。	県、南あわじ市、徳島県、鳴門市	観光協会	-	-	準備	準備	実施	南あわじ市 商工観光課	南あわじ市サイクリングコース（4ルート）をSetouchi Velo 協議会ホームページに登録した。	
	サイクリストの走行環境整備	・休憩スポットも含めた利用状況（利用ニーズ）の把握により、整備が必要な箇所等の抽出を行い、サイクリストに配慮した走行環境整備を効果的に実施する。	県、3市		実施	実施	実施	実施	実施	洲本土木事務所	利用者ニーズの効率的な把握のため、令和5年9月にインターネット上で回答出来るアンケートサイトを立上げ。	
	サイクリストの受入環境整備	・サイクリスト目線のHPの充実を図る（観光宿泊施設などのサイクリスト支援情報の発信等）。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	サイクリスト対応宿泊施設をHPに追加し、淡路島ロングライドHPともリンク。 サイクリングマップ（英語版）を製作	
	ASAサイクリングおもてなしスポットの登録 ※ASA：AWA/SANUKI/AWAJI	・サイクリストの休憩場所や自転車の修理場所である「おもてなしスポット」を設置する。	南あわじ市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市、東かがわ市	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	「おもてなしスポット」としてSEAPA & ゆとりつくを新規登録した。（現在29スポット登録）	
	シンポルイベントの開催	・他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンポルイベント（淡路島ロングライド150）を開催する。	淡路島ロングライド150実行委員会	県、3市、くうみ協会、観光協会、関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	淡路県民局（総務企画室）	・ピワイチなど他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンポルイベント（淡路島ロングライド150）を開催した。	
	鳴門・南あわじ渦潮グルメの開催	・南あわじ市と鳴門市のコースを走るサイクリングイベントを実施する。エイドステーションでは、地域のグルメや特産品を楽しめる場所を展開する。	南あわじ市、鳴門市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	令和5年5月28日（日）開催。 鳴門・南あわじコースには147名が参加。 スタート・ゴールはSEAPA。エイドステーションのAMA TERRASEでは、淡路島ポーク丼、うずまチテラスではあわじ島オニオンビーバーガーが提供された。	
ボタリングツアー実施	・レンタサイクルと飲食・観光施設を連携させたボタリングツアーの造成・販売を実施する。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	シクリズムアワジ（レンタサイクリング事業者）に、飲食・観光施設と連携したボタリングツアーの造成を働きかけたが、今のところ需要が少なく反応は薄い。		

○住民への観光事業についての理解促進のためのセミナー、島民による観光資源体験ツアーの実施	【島民向け】 観光産業に対する島民の理解促進意見交換会など広報施策の展開	・観光戦略の概要版作成や行政発行の広報誌を通じた広報を展開する。 ・地域経済の活性化にとまらない観光産業の重要性や、多様化する来島者へのおもてなし技術向上の必要性などについて、島民や業界団体と意見交換を行い、観光産業への理解を促進することにより、戦略の円滑な推進を図る。	県、観光協会	3市、くうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	県民局、観光協会役員及び会員、近畿経済産業局、本四高速ほか関係団体や企業、大学など来訪や来会の機会を捉え、観光戦略及びバウポイント資料で説明・啓蒙		
	島民dayの実施	・有料観光集客施設や宿泊施設に、無償又は廉価な価格設定で利用できる「島民特別開放デー」の設定を働きかける。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）	協議	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光施設等における「島民特別開放」の現況を調査。実態を把握したうえで具体的な依頼先・効果などを検討する		
○観光関連人材の満足度を高めるための施策検討（満足度調査、各種セミナー、住環境整備など）	観光人材育成セミナーの開催	・島内の主要宿泊施設や観光施設等に従事するサービス提供者を対象に、淡路島の歴史・文化・食などのバックストーリー（背景）を、十分に来島者等へ伝え、満足させるような語りが身につくよう、自らの体験などを通じて、そのスキルを向上させる。 また、経営者に対するこのような取組への強い意識と理解を促進するセミナーも開催する。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）、県、3市、第3セクター	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	下半期実施を計画。実施時期・内容など詳細を詰める。		
	満足度向上にむけた先進事例の調査・研究・施策の実施	・先進地への視察、研修を実施する。 ・各分野のワーキンググループを新設する。 ・観光客（お客様）満足度調査（アンケート等）の実施、結果分析からの問題点を抽出し、改善策を検討する。	観光協会	観光協会会員施設、民間企業（会員外のリゾート施設運営会社など）、県、3市、第3セクター	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	先進地として豊岡観光イノベーション（城崎温泉）を候補として、事前現地調査日程調整中。		
	おもてなしの心コンテストの開催	・観光産業に従事する者のホスピタリティの向上及び職場のリーダー育成を目的として、接客を審査するコンテストを実施する。	観光協会	宿泊事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和6年2月27日(火)開催		
	淡路島創作料理コンテストの開催	・来島者を「食でおもてなし」する機運向上のため、淡路島の食材を活かした創作料理コンテストを通じて、新しい島グルメを創作する料理人のモチベーション向上と、「食の島」淡路島の魅力向上を図る。	観光協会	県、3市、くうみ協会、飲食事業者等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和6年2月27日(火)開催		
○外国人労働者等への各種サポート	外国人ワーキングスキルアップの実施	・外国人日本語スキルアップ研修（又は勉強素材製作）を実施する。	南あわじ市、淡路市	商工団体	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市、淡路市	南あわじ市：事業者向け研修会を予定。 淡路市：市内在住外国人に対し、ボランティア講師による日本語教室を年間を通じ実施している。 また、日本語教員の資格をもつ講師による外国人の日本語レベルに応じた日本語教室（初級・中級）を、9月から11月にかけて実施予定である。		
		・淡路在住のワーキングスタッフからのヒアリングなどを踏まえたうえで日本語スキルアップの教材を製作する。	観光協会	南あわじ市、淡路市	協議	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、外国人ワーカーの日本語のスキルアップの教材製作の手がかりを得るため、淡路在住のワーキングスタッフに対してヒアリングを行う。		
○新卒採用者の確保（特に宿泊施設）	大学観光学部との定例ミーティングの実施	・観光協会と京阪神を中心とした大学観光学部と研究会的な定例ミーティングを行い、仕事としての業界の魅力ややりがいを伝えることによって、新卒採用者の確保に務める。	観光協会	大学観光学部、宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【関西国際大学国際コミュニケーション学部】 令和5年5月 世界展開力強化事業への協力 令和5年9月 インターンシッププログラム受入		

推進戦略1（商品戦略①：物語化）：「選ばれた観光地」をめざし、自然や歴史に培われた文化、産業、食の魅力・ポテンシャルを引き出す観光コンテンツの開発

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2023年度の取組			
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	自己評価	
◆淡路島の特性(強み)である「美食」「やすらぎ」「海」「歴史」など「ほんもの」を活かした、観光コンテンツづくりの推進 ◆兵庫テロワール旅にふさわしい地域の風土(テロワール)を活かしたコンテンツづくり ◆地域や資源をより深く楽しめるストーリーの磨き上げやストーリーテリング能力の開発による体験価値向上 ◆上記の観光コンテンツを基軸とした新たな観光商品づくりの推進	○日本遺産等の紹介にとどまらず、国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとしての作り込み、磨き上げ	【日本遺産の活用】 ステップ1：「なぜ古事記の国生み神話に淡路島が描かれたのか」にポイントを絞ったストーリー作り	・日本遺産構成文化財を活用し、「なぜ古事記の国生み神話に淡路島が描かれたのか」にポイントを絞ったストーリー作りをし、有識者に確認を依頼する。	観光協会、淡路島日本遺産委員会	日本遺産構成文化財施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年9月21日～23日 「旅作家小林希さんと巡る 古事記・国生みの島淡路島と鳴門うずおくクルージング 3日間」～国生み神話でなぜ1番目に生まれたのか 海の民と神話を解きながら巡るロマンあふれる旅～産経新聞社主催ツアー開催 <a href="https://id.sankei.jp/e/13433">https://id.sankei.jp/e/13433</a> 8名参加	○		
		【日本遺産の活用】 ステップ2：背景を解き明かす観光プログラムを造成	・国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かす観光コンテンツを造成し、磨き上げる。	観光協会、淡路島日本遺産委員会	3市	準備	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会		○	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産ファムツアーの実施<情報発信その1>	・淡路島日本遺産の主要コンテンツ「伊弉諾神宮・松帆銅鐸（玉青館）・五斗長垣内遺跡」の現地ガイド付周遊ツアーファムトリップを実施し、ツアー商品造成・販売を実施する。	観光協会、淡路島日本遺産委員会	県、3市、くしまり協会の関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会		○	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産HPの充実：バイブル的存在に昇華<情報発信その2>	・ストーリーはテキストと動画を活用し、「古代のミステリーの謎解き」的なテイストで、お客様参加型、地域への誘客（実足を運びたいくなる）を意識したHPにブラッシュアップを実施する。	観光協会	淡路島日本遺産委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	HP修正内容等詳細を詰めていく。	○	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：旅行者へ向けたストーリーの伝播<情報発信その3>	・日本遺産構成文化財（現地）で二次元バーコードによるHP誘導、宿泊施設での情報提供・二次元バーコード誘導、音声ガイドの新設（検討）、歴史系プロガイド（養成含め）等を実施する。	3市、観光協会	観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	AR技術を用い、往時の様子をCGなどで復元するなど検討中	○	
		【日本遺産の活用】 ステップ3：淡路島日本遺産キャラクターを活用したRPGの普及<情報発信その4>	・RPGキャラクターや文化財のグッズ（フィギュア・消しゴム等）の製作・販売を実施する。	観光協会、淡路島日本遺産委員会	県、3市、くしまり協会の関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	別アフィリエイト以外のPRグッズ製作物の仕様を今後検討。		
		【日本遺産の活用】 ステップ3：島外にむけたプロモーション活動<情報発信その5>	・日本遺産の紹介動画を制作する。 ・メディア（雑誌、SNS等）公共交通機関（空港・駅構内での広告やバスへの装飾等）を活用した情報発信を実施する。	観光協会	県・3市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	YouTube動画をHPで順次公開。日本遺産ポータルサイトへの特集記事掲載を予定。		
		【日本遺産の活用】 「国生みの島・淡路」の重要なストーリー「御食国」を活用した、御食国キャラバン「はも道中」の実施	・祇園祭にぎわう7月初旬に、「御食国」を前面に打ち出したPRの展開として、夏の代表食材「はも」を産地である淡路島から京都八坂神社に奉納する。「はも道中」を実施する。	観光協会	県、3市、くしまり協会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【はも道中出立式】 令和5年6月30日(金) 土生港・大浜公園 神事、はもすき振舞い、観光客見学者公募 【はも道中】 令和5年7月3日(月) 八坂神社 練歩き、奉納神事、はもすき振舞い、一般参加者公募		
食の背景の明確化と、観光協会グルメガイドHPのブラッシュアップ（バイブル的存在に昇華）	・食の背景（気候や土壌、人々の創意工夫や努力、機械化・技術による進歩、調理方法の工夫、サステナブルな取組等）を詳細化し、HPに掲載する。	観光協会	食のブランド「淡路島」推進協議会、各種協議会等	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	淡路島グルメガイドHP「豊富な食材たち」で淡路島を代表する20食材の美味しさの秘密を深掘り。今後、食の伝道師育成用動画を制作・配信する。				

○地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさを現地体感できる観光コンテンツの造成（工場見学・ものづくり体験・魚介類のイートイン等）	観光協会グルメガイドHPの二次元コードを介した閲覧機会の拡大	・レストラン・食堂・観光施設等で二次元コードが読み取れるツールの設置と定着、及び宿泊施設夕食お品書きへの二次元コード掲載等あらゆる拡散手法を検討する。	観光協会	食のブランド「淡路島」推進協議会、各種協議会等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・洲本温泉観光旅館連盟定例会（5月）などで、宿泊施設夕食お品書きへの二次元コード掲載を徹底、食のブランド推進協議会の協力も得てこだわり宣言店にもメニューへの掲載を依頼。引き続き、あらゆる機会を捉え宿泊・飲食施設に働きかけていく。		
	【地場産業・農水産業の活用】 ステップ1：地場産業、農水産業の臨場感あふれる現場を活用し、淡路島らしさにこだわった観光プログラム開発（国内外対応）	・地場産業においては、(南あわじ)・緑香（江井）・手延べ素麺（福良）を第一ターゲットとし、本物見学（職人）・体験（お客様）・試食等を組合せブラッシュアップさせる。また、ガイド（コンシェルジュ）を養成し、生産者との橋渡し・コンテンツアレンジ・自らのガイドの高度化を実現する。 ・農水産業においては、生産者の臨場感を損なわない雰囲気・空間の中での魚介類・農産物のお土産販売と、地産地消にこだわったBBQ・イートイン設置等を含む食事提供の拡販の実現に向けて取り組む。	観光協会	島関連団体、観光事業者等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・着地型コンテンツの造成に積極的な事業者とともに、インバウンドや富裕層を直接案内するプロガイドなど専門家の観点で、刺さるコンテンツへの磨き上げポイントなどアドバイスをもらい、淡路島ならではの本物志向のコンテンツに仕上げる。 ・由良漁港（洲本市）でのゼリ見学、ゼリ前の仲買人との漁港見学コンテンツの実施調整中。	○	
	【地場産業・農水産業の活用】 ステップ2：国内外を対象とした販売体制の構築	・観光コンテンツの体験の仕組み作り（シンクリアル化・WEB化）と継続できるための収益面での構造を構築する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年7月 観光協会HPにオンライン体験予約ページをオープン。国内向け体験コンテンツ販売ルートを作成した。	○	
	【地場産業・農水産業の活用】 ステップ3：ファミツアーによる情報発信（国内外対応）	・ステップ1で開発した観光プログラムを活用し、旅行会社・インフルエンサーを対象としたファミツアーを開催し情報を発信する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	コンテンツ造成できれば、観光協会HPからオンライン販売する。		
○ストーリーテラーとしてのガイドの養成とガイドを活用したプログラムの開発	ステップ1：多様なガイドの育成	・「兵庫デワール旅」の趣旨に沿って、有名企業と連携して淡路島産食材（淡路島なるとオレンジなど）を生かしたお茶菓子等の開発を行い、宿泊施設等で提供する。 ・スポット限定のボランティアガイド・プロガイド、スリーブガイド・多言語対応プロガイド（3市連携）の養成を実施する。 ・インバウンド向けにはファミトリップに合わせ模擬ガイドを実施する。 ・育成にあたってはガイド向けガイドブック（教本）を作成し、クオリティの統一に努める。	観光協会	県、3市、くしまみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	洋菓子会社と共同で、淡路島なるとオレンジを活用した淡路島ならではの感のお茶菓子開発に向け、粉末化の調整中。		
	ステップ2：多様なガイドを活用した着地型プログラムの造成	・ガイド案内をメインとした着地型プログラムを造成する。	観光協会	南あわじ市、地域おこし協力隊、観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「南あわじ市公認地元ガイドと巡るプライベートガイドツアー」を造成中。	○	
	ステップ3：多様なガイドを活用した着地型プログラムの販売	・オンライン販売を強化・拡大し、専用ページ化する。合わせて多言語化した上で、海外OTAでの販売を実現する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ステップ2のガイドツアーが造成でき次第、観光協会HPでオンライン販売を開始。	○	
○海、温泉、文化、食とコラボし、旅をきっかけとして健康になる「ヘルスツーリズム」（運動×休養×栄養×癒やし）《例：アニマルセラピー（動物で癒やされる）コンテンツの造成》の推進	淡路島ヘルスツーリズムの推進	・「淡路島で健康になる旅（ヘルスツーリズム）」のコンテンツを充実させ、魅力的な旅行商品としての価値向上に向けた磨き上げを実施する。	観光協会	県、3市、くしまみ協会、観光・宿泊施設、関連事業者、大学	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	「旅チカガ」を巡り健康に過ごせる気付きや、日常生活に戻ってからの活用方法を持ち帰られる旅行＝ヘルスツーリズムをコンセプトに、宿泊施設の食事プランと連携し販売。（8月：13人泊）		
	ヘルスツーリズムに特化した宿泊プランの造成と販売	・食・温泉・リラクゼーション・サウナ等をヘルスツーリズムの観点で組み合わせた宿泊プランに、必要に応じて宿泊施設外のコンテンツを組み合わせて、観光協会HP等に販売する。	観光協会	宿泊施設、島内各企業	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記事業の販売にあたり、観光協会HPのヘルスツーリズム特集ページは、各宿泊施設プランへの導線として活用した。		
	アニマルセラピー（動物で癒やされる）コンテンツの開発と販売	・淡路島モンキーセンター（サル）・じゃのひれアワードリゾート（イルカ・馬）・ハーモニーファーム（馬・海中）等にてコンテンツを開発し、観光協会HPにて販売する。	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、アニマルセラピー（動物で癒やされる）コンテンツ事業者とともに開発に取り組む。		

	高齢者や子どもの体調や症状に細やかに対応した食事提供	・細やかに対応した食事内容を宿泊施設HPにて予約販売する具体的な手法を確立し、島内宿泊施設に実装する。	観光協会	宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	具体的手法を確立できるよう専門家に相談		
	ヘルスツーリズムの情報発信の充実	・ヘルスツーリズムの定着とさらなる発展に向け、観光協会HPに特集ページを作成し、ヘルスツーリズムを紹介する動画を制作し、HPの内容の充実、新しい情報へのブラッシュアップを実施する。	観光協会	県、3市、くうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	上記の事業展開にあわせ、コンテンツの充実と特集ページのブラッシュアップを行う。		
	観光目線も取り入れた港の再整備計画策定の働きかけ	・画一的な整備ではなく、観光視点も整備計画に取り入れて、景観と賑わいが計画に盛り込まれるよう整備主体に働きかける。	観光協会	県、3市	要望	要望	要望	要望	要望	観光協会	県民局など整備主体に、港の再整備計画など策定状況を把握する。		
	港・海岸で体験できる魅力的なプログラムの造成	・先進地の事例を調査・分析し、賑わいづくりに繋がるプログラムを造成し、磨き上げる。	観光協会	県、3市、関連事業者	調査	実施	実施	実施	実施	観光協会	うずしおクルーズ事業を展開する事業者などとともに、プログラムを造成していく。		
○港・海岸を拠点とした賑わいづくりの推進	港・海岸を活用したイベントの開催	・各市の花火大会等に合わせ、船上からの花火見学、港を活用したマーケット等を実施する。	3市、各実行委員会	観光協会	準備	実施	実施	実施	実施	3市	南あわじ市：7月29日、慶野松原花火大会、8月26日、アマプロジェクト「きばつらんかよ！阿万」での花火打ち上げを実施。福良地区イベントでの花火打ち上げを予定。慶野松原では、ジョイボートと連携した船からの観覧も実施した。洲本市：実行委員会において花火大会を開催しないこととなったため実施しない。 来年度以降の開催有無も実行委員会で協議されるため、予定は未定である。 淡路市：2023年度の淡路市夏まつりは、7月23日（日）の実施し、民間事業者がクルーズ船を出航させるプランを商品化し、船上から花火を観賞することができた。 また、10月には、神戸市との海上交通の実証実験により、着岸地である交流の翼港及び津名港ターミナル周辺で受入れイベントを実施予定である。		
	漁港の活性化	・漁港の空きスペースを活用し、イトインスペースや魚の直売所、釣り堀等の整備や、朝市のようなイベントを実施する。	観光協会	県、3市、漁協、関連事業者	準備	準備	実施	実施	実施	観光協会	AWAJI島博に向けて、水揚げやせり現場の見学コンテンツを造成し、魚介類の購入やイトインもできるような磨き上げを行う。		
○淡路島ならではの楽しみ方、過ごし方をテーマ別に情報発信	【ターゲットごとの情報発信】提供可能コンテンツを一覧化し、クラスターごとの親和性を想定した情報発信	・クラスター分類として、発地（距離）、インバウンド（欧米・アジア等）、興味趣向、富裕層（レベルあり）、知的好奇心等に分けて発信する。 ・関西圏及び首都圏等へ発信力のあるマスメディアを活用する。	観光協会	県、3市、くうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	専門家のアドバイスなども受けながら、まずは現状のコンテンツをクラスター別に分類する。		
	観光情報発信内容の見直し	・観光協会HPや季節ごとに観光情報を発信する「ふらと淡路島」等のパンフレットの内容をブラッシュアップし、県・市HPで発信されている観光情報と連動して発信する。	観光協会	県、3市、観光協会会員	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光協会HPトップページのバナーを活用し、オンライン販売などの導線として有効活用。また、アクセスページもブラッシュアップした。観光アンバサダーによるSNS活用した情報発信を実施		
	メディアを活用した広告・宣伝	・夏は「はも」、冬は「淡路島3年とらぶく」のシーズン直前に、各新聞社、ラジオ、テレビ局等マスコミ及び旅行会社への訪問、京阪神及び首都圏へのPRを実施する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年6月15日に、在阪のメディアを招き「鯉」キャンペーンを実施		
	ローカライズされた情報の収集と発信	・地域のお祭りやイベント、地域の名物おじさん（おばさん）、フォトジェニックスポットなどローカライズされた情報を収集・発信する。	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、観光アンバサダーにも協力してもらいSNS等でローカライズな魅力も発信していく。		
	富裕層・高付加価値層を対象とした媒体への掲載	・富裕層を読者層にしている雑誌等で、淡路島の歴史・食等についての情報を深掘りし、継続的に発信する。	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	掲載情報紙及び掲載内容について、事業者と協議中。		
	SNS、HPを活用した情報発信	・淡路島で開催されるイベント、祭り等の情報発信を協会HPで一元的に実施する。 ・フォロワー数が多いSNSアカウント運営者と連携し、淡路島の観光・店舗情報等について、継続的に発信したり、インスタ投稿コンテストなどSNSの活性化施策を実施する。	観光協会	県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	イベント情報など旬の情報を協会HPのお知らせやSNSで発信。サイクルフォトコンテストをピウィチとコラボで開催。約4万人のフォロワーを有する「淡路島ガイド」と連携してSNSでの発信も「強化した」。		
	インバウンド向けの情報発信	・淡路島観光協会の繁体字版サイトを活用したインバウンド向けの情報を発信する。	観光協会	県、3市、くうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	フェイスブック動画投稿で旬の情報を定期的に配信し、HPへのリンク誘導させている。		
○推進戦略1のコンテンツ・プログラムを活用した旅行会社等への働きかけ	旅行会社や各種WEBページを介した働きかけ	・コンテンツ・プログラムを全量売り込むのではなく、クラスター分類に基づきテーマや付加価値レベルを鑑みた働きかけを展開する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	専門家のアドバイスなども受けながら、まずは現状のコンテンツをクラスター別に分類し、的確なPRができるよう準備する。		

推進戦略2（商品戦略②：高付加価値化）：「京阪神以外からも選ばれる観光地」をめざし、首都圏等遠隔地発のシェア拡大に向けた誘客の促進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2023年度の取組				
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	自己評価		
◆遠隔地からの旅行者(インバウンド含む)に、旅行先として選択してもらうための高付加価値型(高品質)商品づくり ◆遠隔地発の旅行者のシェア拡大による観光の消費単価の押し上げ ◆大阪ベイエリア、瀬戸内海エリア、兵庫県での大型イベント等に連携し、その影響を見据えた観光ルート等の展開	○高品質グルメの観光商品づくりと食の伝道師の養成等	「御食国ブランド」の推進に向けた広域連携事業	「御食国」の淡路、若狭、志摩と「都」京都が一体となり、「御食国ブランド」を確立するためのプロモーションを実施することにより、インバウンドも含めた観光促進を図る。	県、3市	御食国事業実行委員会(関西観光本部)、関係府県市(京都、福井、三重、3市)	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課(未来島)	御食国事業実行委員会に参画し、消費者に伝わるコンセプト及びキャッチコピーの制作、御食国ブランドを体現する宿泊施設及び飲食店の選定を行っているほか、昨年度に引き続き、国内OTAやインバウンド向けホームページでの情報発信に取り組んでいる。				
		食の背景を語れる観光従事者の育成事業	観光客の淡路島の「食」に対する満足度を高め、付加価値を向上させるため、「食」や「食材」の背景を語れる観光従事者を育成する。	観光協会	観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	配信用動画撮影のためのシナリオ作りを進めている。全20食材のうち3食材(はち・えびす鯛・3年とらふく)から撮影開始。				
		同一食材の中での目利き・タグ付け等で、グルメブランドのランク付け推進	天然魚介類(鱈・サワラ・うに等)のランク付けを推進し、高級希少ブランドを高単価で販売する。	観光協会	各漁業協同組合	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、先進地事例を調査し研究する。				
		淡路島の食材を生かしたハラル料理・ヴィーガン料理の研修	ハラルを学び、イスラム教を信仰するインバウンド客の受入環境を整備する。	観光協会	観光協会会員、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	受入可能施設などをリスト化していく。				
		淡路島限定!「ここでしか食べられない旅」プランの造成	宿泊施設と高品質グルメ提供店舗での夕食コア旅行商品を造成する。	観光協会、宿泊施設、高品質グルメ提供店舗	観光協会	観光協会	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、実施協力事業者を洗い出し、事業者とともに造成していく。			
		淡路島この時期限定!「この時しか見られない食べられない旅」プランの造成	宿泊施設と高品質グルメ提供店舗での夕食、サンセットクルーズ(ナイトクルーズ)のコラボ旅行商品を造成する。	観光協会	宿泊施設、高品質グルメ提供店舗、関連事業者	観光協会	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年7月～「チャータークルーズと高級寿司店での食事セットプラン」をオンラインで販売中。(販売実績なし)			
		新たな淡路島産食材の魅力発信	淡路島産食材のブランド化とメニュー開発、認知度の向上を図る。	食のブランド「淡路島」推進協議会	食のブランド「淡路島」推進協議会	観光協会	観光協会	実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	「淡路島えびす鯛」のリーフレット5,000部を制作した。「えびす鯛グルメ」を提供する飲食店45店舗を紹介するホームページ制作し、9月1日に公開した。		
		淡路島産食材「こだわり宣言店」制度の推進	観光客等に対する淡路島産食材の認知度向上と需要拡大に取り組む飲食店を支援する。	食のブランド「淡路島」推進協議会	食のブランド「淡路島」推進協議会	観光協会	観光協会	実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	淡路島産食材「こだわり宣言店」として新たに4店舗を登録し、観光客等にPRするためのパンフレットの作成等を進めている。		
		食のリーイベントの開催	「御食国月間」を定め、この期間に開催する「食に関するイベント」で、秋季の島外からの誘客を図り、淡路島産食材をPRする。	食のブランド「淡路島」推進協議会	食のブランド「淡路島」推進協議会	観光協会	観光協会	実施	実施	実施	実施	実施	洲本農林水産振興事務所	7月～10月を「御食国月間」として定め、週末ごとに島内各所で食の豊かさを知ってもらうための12のイベントをリー形式で開催している。		
		地域をより楽しめる海上と地上コンテンツを組み合わせたプログラムの造成	満潮クルーズと福良港(水揚げ・セリ・しらす天日干し)や、手延べ素麺見学・体験、旧市街散策・飲食店での食べ歩き等と組み合わせたプログラムを造成する。	観光協会、南あわじ市	観光協会、南あわじ市	観光協会	観光協会	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、実施協力事業者を洗い出し、事業者とともに造成していく。		

○鳴門海峡の渦潮を活用した観光プログラムの磨き上げ	鳴門海峡エリアの観光ブランディング事業	・鳴門海峡の渦潮が育む海の幸を活かしたグルメ開発や、鳴門海峡エリアの自然と体験コンテンツをPRすることで、ブランド力を高める。	南あわじ市、鳴門市	南あわじ市観光事業者、鳴門市観光事業者	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	鳴門市と連携している広域観光ブランディング事業において、うずの幸グルメのお披露目会、うずの幸及びアップイングルメの開発及び情報発信、事業者向けのワークショップ・セミナーの実施、首都圏プロモーション等を実施予定。		
	〔再掲〕大鳴門橋に開通する自転車道を活用した新たなサイクリングルートの開発		・令和9年開通予定の大鳴門橋自転車道を活用し、徳島（四国）とつなぐ広域のサイクリングルートを開発する。	県、南あわじ市、徳島県、鳴門市	観光協会	-	-	準備	準備	実施	南あわじ市 商工観光課	南あわじ市サイクリングコース（4ルート）をSetouchi Velo 協議会ホームページに登録した。	
○「ひょうごフィールドパビリオン」を活かした高付加価値化への対応（例：特別な体験ができるプレミアム旅行商品の造成など）	大阪・関西万博に向けた着地型観光商品の開発と活用に向けた体制整備	・地域の「SDGs」を体現する活動現場（フィールド）を発信し、多くの人が見て、学び、体験する「ひょうごフィールドパビリオン」の展開に向け、食・農・自然・文化・なりわい等を「淡路ならでは」、「特別感」をコンセプトにした着地型観光商品として磨き上げ、活用できる体制を整備する。	観光協会	県、3市、観光・宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【沼島おのころコース】 観光協会HPでオンライン販売を働きかけ 豊供養祭見学とクルーズのセットプラントライアルを実施（令和5年5月；参加者4名） ・農漁業や淡路瓦、線香、手延べ素麺など淡路島ならではの素材を中心に、インバウンドや富裕層を直接案内するプロガイドなど専門家の観点で磨き上げポイントなどアドバイスをもらい、淡路島ならではの本物志向のコンテンツに仕上げ。	○	
	アドベンチャーツーリズムのプログラム造成	・欧米人を対象にした、トレッキングコースの整備と体験プログラムを造成する。	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	論鶴羽山古道、淡路島南部の自然などを活用したコンテンツ素材を洗い出し。	○	
	多言語対応できるeガイド・コーディネーターの養成	・生産者等現地の生活者との橋渡しやコーディネーターのできる人材を養成する。	観光協会	3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【3市とガイド育成の現状・課題・方向性を共有】令和5年7月18日打合せ開催（3市・観光協会等） ・南あわじ市第1期認定ガイド：3名（うち英語対応2名） ・南あわじ市第2期認定ガイド受講者：8名（うち英語対応7名） ・淡路島認定ガイド試験実施調整	○	
	誘客・販売できるルートの確立	・多様なエージェントとの連携で、誘客・販売ルートまでできるだけ多数確保する。	観光協会	ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光協会HPにオンライン販売ページを開設（令和5年7月）		
○大阪・関西万博に併せ、ひょうごフィールドパビリオンと連携した淡路島独自の観光イベントを開催	AWA J I 島博の実現に向けた取組の推進	・大阪・関西万博に合わせ、フィールドパビリオンとして兵庫県が認証するコンテンツをメインとして、淡路島ならではの魅力を十分に満喫していただく「AWA J I 島博(仮称)」を展開し、島内へのさらなる誘客を促進する。	観光協会	県、3市、くうみ協会	準備	準備	実施	-	-	観光協会	・令和5年5月26日 実行委員会設立 ・統一ロゴマーク募集 9月14日メット（応募数：280点） ・今後、企画事業及びサポーター募集準備中 ・随時、淡路島ならではのコンテンツ磨き上げ	○	
○特別感のある観光プログラムづくり（ドローンなどを活用したプライベート撮影など）	高単価でも販売できる観光消費単価アップに寄与するプログラムの開発	・「いまだけ」「ごだけ」「あなただけ」を意識したプログラムを開発する。 【例】 観光地でお客様のためにドローンを飛ばし、お客様も映ったオリジナルのオンリーワン動画を販売 わかめ捕り体験をした後、とれたてのわかめを現地ですしゃぶしゃぶにして食べる体験コンテンツ	観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年8月「満開のひまわり畑の上空から、お客様だけが映るオンリーワンのドローンでの動画をプロが撮影・編集してお送りする旅の思い出の決定プラン（1組3万円）」をオンラインで販売。（1組予約。台風のためキャンセル）	○	
○首都圏等を対象としたキャンペーン	〔再掲〕富裕層・高付加価値層を対象とした媒体への掲載	・富裕層をターゲットにした雑誌等で、淡路島の歴史・食等についての情報を深掘りし、継続的に発信する。	観光協会	3市、事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	掲載情報紙及び掲載内容について、事業者と協議中。		
	徳島空港+レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	・徳島空港+レンタカー等の活用を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、旅行雑誌等又は各会社HPでの淡路島特集を展開する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【ANA】令和5年2月～ HPで特集展開 【JAL】徳島空港活用PR策協議中 【じゃらん】関東・東北版9月号に広告掲載(2P) 【楽天トラベル】WEBページでの徳島空港活用PR協議中 上記4社に加え、JTBPにも掲載。	○	
	知的好奇心のある富裕層を意識したプログラムの造成	・産業観光・農水産業観光を完成させ、知的好奇心をくすぐるプログラムを造成する。	観光協会	島内各企業	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	由良漁港でのセリ見学をはじめ、農漁業や地場産業密着のプログラムを事業者とともに造成していく。	○	
○顧客層のターゲティングとDXの活用	提供可能コンテンツ・プログラムを一覧化し、カスタマーごとの親和性を想定し検索可能とするシステムの構築	・構築したシステムで、お客様が自ら検索して、お客様のニーズに合った旅のコンテンツが見つけれられる仕組みを構築する（AI活用を含む）。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	今後、コンテンツ・プログラムを一覧化し、観光DX先進地（豊岡など）の調査を行い実施内容を検討する		
	関西国際空港を利用する中国、台湾、香港からのインバウンド向けのインフルエンサーを活用したファミトリップの実施	・関西国際空港全体構想促進協議会等と連携し、台湾などからのインフルエンサーをターゲット別に招聘し、情報発信やツアー造成を実施する。	観光協会	県、3市、くうみ協会	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	事業者と実施内容について、協議中		



推進戦略3（アメニティ戦略）：「快適に過ごせる観光地」をめざし、円滑な移動や快適な滞在を実現する受入環境整備を推進

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2023年度の取組		
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	自己評価
◆公共交通によるアクセスの情報提供方法を充実・改善 ◆利便性の高い公共交通のネットワーク化等の働きかけ ◆未来型モビリティなど新たな移動サービスの導入 ◆来訪者の心地よい滞在を支援する受入環境の整備を推進 ◆多様な旅行者に対応するユニバーサルツーリズム（アクセシブルツーリズム）の推進 ◆旅行者目線を取り入れるとともに、観光客を気持ちよく迎える景観づくり・景観の再構築	○高速バス・路線バス・コミュニティバス間の接続性向上、新幹線・飛行機（関西3空港、徳島空港）・高速バスとレンタカーの活用促進【陸】	淡路島発着バス検索アプリ周知促進	・淡路島発着バス検索アプリ「バスモ」（乗継検索アプリ）QRコードを、観光案内所、バス（船）の切符売場、停留所、待合所、バス（船）内及び座席へ貼付するなど各種PRを実施（依頼）する。	県、3市、観光協会	淡路島観光交通調整会議、バス事業者、船舶事業者、観光協会会員施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・淡路島発着バス検索アプリ「バスモ」QRコード入りチラシ・カードを、観光案内所・バスセンター等で配布 ・観光協会、会員施設（宿泊・観光施設等）のアクセスページなどへリンクバナー貼付を依頼	○	
		観光地周遊バスの運行	・淡路島島内の観光地周遊バスの運行を、淡路島観光交通調整会議で協議検討するよう働きかける。	観光協会	淡路島観光交通調整会議、淡路市コミバス/パノナ無料シャトル/パノバス事業者	要望	検討	実施	実施	実施	観光協会	島北部（観光施設集中エリア）と中南部（宿泊施設集中エリア）をダイレクトに結ぶ観光直行シャトルバス案を作成。県民局・3市へ提案	○	
		お客様の選択肢としてのレンタカーの充実（EVの比重アップ）	・以下のパターンで選択肢と情報の充実を図る。 【例】促進のためのキャンペーンを検討（キャッシュバックに類似するプラン等） 徳島空港発着（EVの充実） 主要高速バス停（淡路SA・洲本BCなど） 大阪3空港、新神戸駅は同時PRなど	観光協会	レンタカー各社	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	徳島空港発着＋飛行機＋レンタカー＋宿泊（島内）予約者に地域クーポン（例）贈呈キャンペーンが可能か航空会社へ打診		
		淡路島観光協会HPアクセスページのリニューアル	・観光協会HPのアクセスページを改善する（関西3空港、徳島空港からJR、高速バス、船などの乗り継ぎを分かりやすく表示し、島内レンタカー業者へのダイレクト予約やバスモへの直結も検討する）。	観光協会	県、3市、観光情報発信する関連事業者、観光・宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光協会アクセスページをリニューアルし、トップページバナーから島内レンタカー・オンライン予約に直結する導線も実装		
		【再掲】公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	①交通事業者が取組む高速舞子バスストップのリニューアルを支援する。 ②淡路島発着の公共交通乗換検索サイトを充実させる。	県	3市	支援	支援	支援	-	-	洲本土木事務所	①交通事業者が中心となり、施設管理者と協議を開始。 ②淡路島発着の高速バス等乗換検索サイト「バスモ」に路線バスや船舶等のルートを追加するとともに、観光地名からもルート検索できる機能を追加した。（令和5年7月1日公開）	○	
		【再掲】徳島空港＋レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	・徳島空港＋レンタカー等の活用を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、旅行雑誌等又は各会社HPでの淡路島特集を展開する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【ANA】令和5年2月～HPで特集展開 【JAL】徳島空港活用PR策協議中 【じゃらん】関東・東北版9月号に広告掲載(2P) 【楽天トラベル】WEBページでの徳島空港活用PR協議中 上記4社に加え、JTBPにも掲載。	○	
		【再掲】島内宿泊施設等におけるEVレンタカー（カーシェア）などの導入促進	・高速バスで来島して、一定の範囲を車で回る需要に対応するため、宿泊施設や、高速道路のバス停駐車場の活用を働きかける。	観光協会	3市、宿泊施設・入場施設等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	【EV充電器】 島内宿泊施設（20室20台以上駐車場保有）に導入を働きかけ（宿泊施設を軸に展開するエネチェンジ社のビジネスモデルを展開） 16基導入申請準備中 【カーシェア（5年度）】 洲本市管理駐車場（調整中） 南あわじ市6台（陸の港西淡3、淡路人形座3）予定 淡路市6台（道の駅東浦3、津名港3）予定 宿泊施設12台導入済み	○	
乗り継ぎ検索システムの開発(南あわじ市版)の全島展開)	南あわじ市版バスモの全島展開及びユニバーシティの向上	県、3市、観光協会	関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年7月 全島版バスモにリニューアル				

○未来型モビリティ（空飛ぶクルマなど）交通機関の早期誘致に向けた取組【空】	未来型モビリティの島内誘致及び活用推進	未来型モビリティ（空飛ぶクルマ）事業者と積極的に情報交換・共有の協議を実施し、早期実現に向けた実施策などを検討する。 (実施策案) 島内で窓口となる行政機関の決定誘致に関する問題点の洗い出し候補地の選定 地権者等、周辺住民への説明（誘致場所の近隣に影響のない場合は除く）	県、観光協会、空飛ぶクルマ関連事業者	観光・宿泊関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流湯湖課（観光）	県において、「次世代空モビリティひょうご会議」を開催し、2025年の大阪・関西万博での空飛ぶクルマの県内飛行実現を目標としつつ、社会実装に向け、県内の社会受容性の向上・機運醸成につなげていく(第1回：8/31開催、第2回：R.6.2～3月予定)。また、県内において空飛ぶクルマを活用したビジネス展開をめざす事業者を補助制度により支援している(7事業者)。		
	関西国際空港・神戸空港～洲本ヘリポートの早期誘致	関西国際空港、国際化しプライベートジェット対応できる神戸空港から、新設した洲本のヘリポートの路線の早期認可を働きかける。	観光協会	宿泊事業者、ひょうご観光本部、JAL・ANA	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	行政（経済産業省・県・市）及び空飛ぶクルマ事業者との情報共有、各種情報をキャッチし、早期運航認可を目指す。			
	ヘリポートを持つ他の観光地とのセット販売	富裕層を意識し、ヘリポートを活用可能な宿泊施設等とセットしたコンテンツを開発・販売する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ひょうご観光本部と連携し、淡路島～直島のファミリーツールを実施予定			
○淡路地域サイクリズムの推進	淡路地域サイクリズムの推進	「アワイチ推進プログラム50（R1～5）」に基づく走行環境・受入環境の整備や、情報発信を実施する。	県、国、市、観光協会、民間事業者	淡路地域モデルルート推進協議会、観光・宿泊施設、協議会構成員以外の関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	国、県、市、観光協会、民間	推進プログラムに基づき、走行環境の整備、サイクリストの受入環境の整備、情報発信を行っている。また、「淡路島ロングライド150」を4年ぶりに開催した（R5.9.18）ほか、「サドイチ」（新潟県）との仕掛けづくりの検討や「ピワイチ」（滋賀県）との合同フォトコンテストなど、他地域のサイクリングルートと連携を進めている。			
	マイカーや船舶以外で自転車を輸送できるための仕組みづくりの調整	マイカーや船舶以外で自転車を輸送するための仕組みづくり（高速バスの活用）などを、各運輸機関に働きかけ多様な方法でサイクリストのアクセス向上を支援する。	県、観光協会、3市	交通関連事業者	準備	実施	実施	実施	実施	観光協会	「鳴門・南あわじ渦潮グルメリライド」(5/28：報知新聞社主催)で、ポートレース鳴門～SEAPA間（南あわじ市）を観光バスで輸送。南あわじ市にも当時の状況を確認して検討する。			
	【再掲】サイクリストの走行環境整備	休憩スポットも含めた利用状況（利用ニーズ）の把握により、整備が必要な箇所等の抽出を行い、サイクリストに配慮した走行環境整備を効果的に実施する。	県、3市			実施	実施	実施	実施	実施	洲本土木事務所	利用者ニーズの効率的な把握のため、令和5年9月にインターネット上で回答出来るアンケートサイトを立上げ。		
	【再掲】サイクリストの受入環境整備	サイクリスト目線のHPの充実を図る（観光宿泊施設などのサイクリスト支援情報の発信等）。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	サイクリスト対応宿泊施設をHPに追加し、淡路島ロングライドHPともリンク。 サイクリングマップ（英語版）を製作		
	【再掲】ASAサイクリングおもてなしスポットの登録※ASA：AWA/SANUKI/AWAJI	サイクリストの休憩場所や自転車の修理場所である「おもてなしスポット」を設置する。	南あわじ市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市、東かがわ市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	「おもてなしスポット」としてSEAPA&ゆとりくを新規登録した。（現在29スポット登録）		
	【再掲】シンポイベントの開催	他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンポイベント（淡路島ロングライド150）を開催する。	淡路島ロングライド150実行委員会	県、3市、くろみ協会、観光協会、関係事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	淡路県民局（総務企画室）	ピワイチなど他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたシンポイベント（淡路島ロングライド150）を開催する。		
	【再掲】鳴門・南あわじ渦潮グルメリライドの開催	南あわじ市と鳴門市のコースを走るサイクリングイベントを実施する。エイドステーションでは、地域のグルメや特産品を楽しめる場所を展開する。	南あわじ市、鳴門市	観光・宿泊・飲食施設など関係事業者、鳴門市民間事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市 商工観光課	令和5年5月28日（日）開催。 鳴門・南あわじコースには147名が参加。 スタート・ゴールはSEAPA。エイドステーションのAMA TERRASEでは、淡路島ポーク丼、うずまちテラスではあわじ島オニオンビーバーガーが提供された。		
	【再掲】ボタリングツアー実施	レンタサイクルと飲食・観光施設と連携させたボタリングツアーの造成・販売を実施する。	観光協会	サイクルショップ、観光・宿泊施設など関係事業者	準備	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	シクリズムアワジ（レンタサイクリング事業者）に、飲食・観光施設と連携したボタリングツアーの造成を働きかけたが、今のところ需要が少なく反応は薄い。		

○万博を契機とした動きと連携し、大阪湾の船便運行に向けた取組との連携及び島内との交通ネットワークづくりの検討【海】	兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進協議会 企画委員会淡路ワーキングとの連携	・万博が開催される2025年を見据え、短期に効果を発揮する交流や誘客を活性化するプロジェクトを優先的に検討する。 ・淡路島総合観光戦略推進の観点から協議会のワーキングに参画する。 ・同じ方向性をめざし、同協議会のとりまとめるプロジェクトと淡路島総合観光戦略のアクションプランの取り組みを進めることにより、大阪湾のベイエリアの活性化を図る。	県、3市、観光協会	兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進協議会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	「兵庫東域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針」（2023.3策定）と同じ方向性をもって淡路島総合観光戦略のアクションプランの取り組みを進めるにあたり、県担当課と情報共有と意見交換を行っている。		
	関西経済同友会関西広域観光推進委員会の活動と連携	・大阪湾と淡路島をつなぐ舟運ネットワーク構築、さらに瀬戸内に繋がるクルーズ事業の拡大をテーマにワーキンググループを設定する。	観光協会	関西経済同友会 関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ワーキンググループ会議に参加し、情報交換・共有を行う		
	島外からの海上交通と島内交通のネットワークづくりの推進	・施策推進に向けた活動へ参画する（大阪湾舟運事業や主要各港と島内港を航行する実証実験の協力、検討会に参画）。 ・島内上陸後の二次交通を整理する。	観光協会	県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	同上 カーシェアリングの導入を進めるとともに、観光シャトルバス（バス）の実証実験などを働きかける		
	観光要素の少ない大阪湾の目玉としての友ヶ島と連携した観光コンテンツ化	・要塞・砲台跡として、アニメで既に注目されている友ヶ島を、淡路島と絡めたコンテンツとして有効活用するための条件整備を進める。	観光協会	関西経済同友会 関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年7月～「チャータークルーズプラン：友ヶ島、由良要塞放生弟跡を眺め和歌山マリナと高級寿司店での食事セットプラン」をオンラインで販売中。		
○多言語化、AIを活用した観光案内などの地域としての受入環境整備の推進（官民の連携等による）	ホテル等が所有するクルーザーを利用した日帰りオプショナル商品の造成と販売	・洲本発着で、①岩屋②沼島③友ヶ島④和歌山マリナシティ等を巡る商品を開発して、システム登録、観光協会HP、宿泊施設HPにて販売する。	観光協会	宿泊事業者、関西経済同友会 関西広域観光推進委員会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	令和5年7月～「チャータークルーズプラン：友ヶ島、由良要塞放生弟跡を眺め和歌山マリナと高級寿司店での食事セットプラン」をオンラインで販売中。		
	淡路人形浄瑠璃観光客受入環境向上支援事業	・外国人観光客向け字幕作成やキャッシュレス決済対応機器の購入等、観光客の受入環境の向上に向けた取組に対する補助を実施する。	県	淡路人形協会	実施	実施	実施	実施	実施	実施	淡路県民局（県民・商工労政課）	観光客が淡路人形浄瑠璃に対する理解を深めるため、英訳イヤホンガイドなど、観光客の受入環境の向上に向けた取組む淡路人形協会に対して補助する。		
	AI導入による観光案内の効率化とサービス向上	・サービス向上と効率化を目的とした、AI活用による案内業務（多言語対応含む）や島内の主要な交通拠点等にAIサイネージの導入等を実施する。	観光協会	3市、船舶事業者（明石案内所）	検討	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光案内所へのAI搭載チャット導入について事業者に企画書提出を依頼		
	多言語対応等インバウンド推進体制の整備	・多言語及び手話タブレットを島内観光案内所に配備する。併せて、観光協会から宿泊施設に対しタブレット等の導入を働きかけるとともに、各施設HPでのバリアフリー情報や外国語対応などを促す。	観光協会	県、3市、くじりみ協会、宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・13か国語及び手話対応タブレットを島内観光案内所に配備。他機種でのトライアルも試行し案内サービスのブラッシュアップを進める。 ・会員施設（観光・宿泊等）に指差しシートデータを配付		
○心地よい滞在を支援するユニバーサルツーリズムの推進（機運醸成、人材育成、サービスの見直し、環境整備（例：車いす利用者が波打ち際まで行ける環境の整備など））	【再掲】外国人ワーキングスキルアップの実施	・外国人日本語スキルアップ研修（又は勉強素材製作）を実施する。	南あわじ市、淡路市	商工団体	実施	実施	実施	実施	実施	実施	南あわじ市、淡路市	南あわじ市：事業者向け研修会を予定。 淡路市：市内在住外国人に対し、ボランティア講師による日本語教室を年間を通じ実施している。 また、日本語教員の資格をもつ講師による外国人の日本語レベルに応じた日本語教室（初級・中級）を、9月から11月にかけて実施予定である。		
	ユニバーサルツーリズム普及啓発推進事業	・兵庫県等主催の「UTコンシェルジュ育成プログラム」への参加や、「UTおもてなし研修」の淡路地域開催を要望する。	県、ひょうご観光本部、芸術文化観光専門職大学	3市、観光協会、観光・宿泊施設など 関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言・登録制度の活用について、観光協会を通じて島内宿泊施設に積極的に働きかけ、島内では、宿宣言施設17施設（県全体37施設）が宣言（7/27現在）		
	【再掲】高齢者や子どもの体調や症状に細やかに対応した食事提供	・細やかに対応した食事内容を宿泊施設HPにて予約販売する具体的な手法を確立し、島内宿泊施設に美装する。	観光協会	宿泊施設	実施	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	具体的手法を確立できるよう専門家に相談		
ユニバーサルツーリズム情報の発信	・宿泊・観光・飲食施設等のバリアフリー情報を、県市公共施設/バリアフリー情報、観光協会・県3市・各施設のHPで発信する。	観光協会	県、3市	観光協会、商工団体、青年会議所、調査 関連事業者	調査	実施	実施	実施	実施	実施	交流渦潮課（観光）	宿泊宣言施設については、「ひょうごユニバーサルなお宿」として県HPにおいて公開		

○景観の再構築など観光客目線での提言を行う	淡路島旅行者へのおもてなし向上	・淡路島の玄関口（北・中・南）に観光客おもてなし看板の設置（北部は入替）要望や島内観光案内看板の統一を図る。	観光協会	国、県、3市、本四高速	要望	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	街路樹などの景観の再構築として要望箇所案を作成し提案する	○	
	観光地魅力アップへの取組	・淡路島の玄関口（各インター出入口周辺、岩屋・福良・洲本港、主要バス停など）の環境整備（雑草対策、老朽化ベンチの入替など）やあわじ花トイレの改修・美化清掃を施設管理者に要望する。	観光協会	国、県、3市、本四高速	要望	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	街路樹などの景観の再構築として要望箇所案を作成し提案する	○	
	街路樹の整備	・淡路島の景観に調和し、夏は木陰をつくり、電線を目隠しするような街路樹への植え替えを推進する。	道路管理者			実施	実施	実施	実施	実施	3市	南あわじ市：2023年度計画なし 洲本市：景観の調和を図るため、街路樹を「さるすべり」等から桜に変更するよう各所へ提案を実施している。承諾を得た箇所については、順次植え替えを実施する。 淡路市：本年度の実施予定なし。		
	観光地の環境美化	・観光地におけるゴミの撲滅を推進するとともにゴミの持ち帰り協力看板等を設置する。	3市	県		実施	実施	実施	実施	実施	3市 商工観光課	南あわじ市：3海峽グリーンアップ大作戦等清掃活動の実施を継続する。 洲本市：観光地等の景観に配慮し、ゴミ集積箱や灰皿等を撤去している。（三熊山・大浜公園） 淡路島内では、全島一斉清掃等の定期的な清掃に島民が積極的に参加して、環境美化に努めている。令和5年度は7月2日に実施し、11月12日にも実施する予定である。 淡路島内では、全島一斉清掃等の定期的な清掃に島民が積極的に参加して、環境美化に努めている。 淡路市：今年度開設した、海水浴場については、従前どおりごみ持ち帰り看板設置等の啓発活動を行った。 また、定期的に海水浴場を巡回し、ごみが多い海水浴場については、現場関係者に声を掛け共に海岸清掃を行うことにより、ビーチクリーン文化の醸成を図り、その甲斐あって、海水浴場開設期間における、ゴミの不法投棄等についての地域住民からの通報は、0件だった。 ボランティア清掃活動については、従前から実施している香りの公園、浦県民サンビーチ、岩屋海水浴場に加え、北淡県民サンビーチでも実施された。		
○ワーケーション需要の取り込みと受入環境の整備促進	ワーケーション情報発信の充実	・淡路島内のワーケーション施設情報を集約し、次のサイトへ情報提供する（参考：ひょうごでワーケーション）。 ・専用サイトを観光協会サイトに作成し発信する。	観光協会	ひょうごワーケーションサイト運営者、関連企業	実施 又は 要望	実施	実施	実施	実施	観光協会	島内のワーケーション施設情報を集約し、「ひょうごでワーケーション」サイトで情報提供（淡路：16施設）			
	ワーキングスペースの充実	・各宿泊施設やパブリックスペース等でのワーキングスペースの充実を図る。 （施策例） 施設改修の補助金等の創設・紹介 空き家、空き店舗等の情報の共有→事業者への紹介（施設改修の補助金等とセットしたPR）	観光協会	宿泊施設、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	3市と情報共有しながら、兵庫県助成制度「ワーキングスペース開設支援事業」を有効活用しワーキングスペースの充実を図る。			
	地域の人々とのふれあいの場の仕組み作り	・ワーケーションの充実と長期化のために必要な、地域の人々とのふれあいの場を容易に作ることでできる仕組みづくりを実施する。	観光協会	関連企業、団体	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	ワーケーション事業実施者の意見もききながら仕組みづくりを検討			
	受入環境整備にかかる補助金等支援	・国の補助金等の獲得または情報発信による支援を実施する。	観光協会			実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	観光庁「高付加価値化」助成金による宿泊施設・観光施設の高付加価値化、廃屋撤去、実証実験の実施などの採択を目指し、申請準備中。		

推進戦略4（情報戦略）：「相互理解のできる観光地」をめざし、「淡路島総合観光戦略」を島内外の各種セクターと情報共有、連携

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2023年度の取組		
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	自己評価
<p>◆島内の観光関連企業等との情報共有、相互理解の促進</p> <p>◆圏域内大型イベント事務局や広域連携DMO等との情報共有と連携</p> <p>◆島内の観光関連以外の事業者との情報共有、相互理解の促進</p> <p>◆上記活動と連動し、交流人口および、関係人口の増加に資する連携の企画</p>	<p>○島内の企業が互いに情報共有、情報交換の実施</p>	<p>島外進出企業との情報交換会の開催</p>	<p>・島外からの進出企業に「淡路島総合観光戦略」を軸とした定期的な意見交換を開催する。双方の戦略・事業計画を情報交換し、淡路島観光戦略に沿った、より効率的で相乗効果の高いアクションプランを策定して実施する。</p>	観光協会	島外進出企業、商工団体、県、3市	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>・パナグループと意見交換（令和5年2月） →インバウンド向け商談会など相互連携</p> <p>・アクアグニス淡路島と意見交換（令和5年7月） →インバウンド向け商談会相互連携、着地型コンテンツ開発</p>	○	
		<p>宿泊特化型ホテルを拠点に、地域から提供される“食”“体験”“交通”の3要素について、地元企業や行政、団体等との連携を深める取組を実施する。</p>	県、南あわじ市、淡路市	島外進出企業、商工団体、観光協会等	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>交流渦湖課（観光）</p> <p>福良、東浦において、体験・食・交通の3要素について、地域の観光事業者・団体、行政等をメンバーとするワーキングチームを設置し、ホテルと地域との連携を深める取組を進める。</p>	○		
		<p>島全体のブランド価値を考慮したバランスのよいプロモーションの要請</p>		観光協会	島外進出企業	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>令和4年度に作成したプロモーションビデオ「暮らしように、旅する島」を提供し、相互の情報を効果的に発信する。協会ではHPの「お知らせ」に情報を掲載し発信する。</p>		
	<p>○大型イベント事務局、広域連携DMOとの情報共有及び連携（大阪湾、瀬戸内海、四国）</p>	<p>せとうち観光推進機構（せとうちDMO）等との連携推進</p> <p>JR・DCキャンペーン（兵庫テロワール旅）での適切なコンテンツ提供と旅行会社への働きかけ</p>	<p>・せとうちDMOや瀬戸内芸術祭事務局とも情報共有・交換を行い連携事業を実施する。</p>	観光協会	県、ひょうご観光本部	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>関連する事業や会議などに積極的に参加し、情報交換・共有からスタート。</p>		
			<p>・情報共有をしながら、観光協会として最適な旅行会社への営業活動と情報提供を実施する。</p>	観光協会	ひょうご観光本部	実施						観光協会	<p>【JTBC】「へっぴん囃」特集パンフ作成（明石海峡大橋塔頂ツアー掲載） 【日本旅行】DC専用パンフに、明石海峡大橋塔頂ツアー・サンセットうずしおクルーズ掲載 【旅行誌・タウン誌】DC開催にあわせ、テロワール特集記事掲載「リジェ淡路島」「オセラ」 【令和5年3月～】国（近畿経産局）、県民局、観光協会役員・会員、関西国際大学、産業団体など、会合だけでなく来訪や来会の機会を捉え、大人数少人数に関わらず説明。理解・共感・協働に向けて啓蒙</p>	
	<p>○島内事業者（観光以外事業者含）向け、観光戦略共有セミナーの開催</p>	<p>淡路島総合観光戦略説明会の開催</p>	<p>・県・3市職員、市議会議員、観光協会会員、商工会議所・商工会会員、青年会議所構成員などへ淡路島総合観光戦略説明会を実施し、戦略が円滑に推進できるよう協力を依頼する。</p>	県、3市、観光協会	商工会議所、商工会、青年会議所	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>ふるさと納税やひょうご関係人口案内所における取組の現状を調査。実態を把握したうえで、アプローチ方を検討。</p>		
			<p>関係人口の人々に都市部と多自然地域とのマッチングなどを切り口とした直接アプローチを実施し、「淡路島に行く」というアクションを起こすための、背中を押す具体的な施策を検討・実施する。</p>	観光協会	県、3市、企業、町内会等地域団体、ひょうご関係人口案内所	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>5地域で実施（洲本3、南あわじ1、淡路1）</p>		
			<p>地域と企業や大学が連携し、企業・大学の持つ資源の活用や学生等の外部人材との交流により誘客につながるにぎわいづくり等の活性化を促進する。</p>	県	3市、大学、企業、町内会等地域団体	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>交流渦湖課（多自然地域づくり）</p>		
	<p>○関係人口増加施策等と連携した交流促進策の実施（大学の研究活動との連携等）</p>	<p>【再掲】地域×企業×大学の「ひょうごプロジェクト」</p>	<p>・島内各地で活動する大学生（大学）の活動内容を把握し、観光振興施策と連携可能な大学と意見交換会を実施する。</p>	観光協会	県、3市、大学、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	<p>令和4年12月 関西国際大学観光地域共創ブートキャンプ南あわじに参加。今後も大学主催の行事に参加するなど情報交換を実施。</p>		

推進体制と検証体制の確立

方向性	方針	施策	概要	実施主体	関連主体	実施年度					所管	2023年度の取組		
						23	24	25	26	27		進捗状況	重要な取組	自己評価
◆日本版DMO登録法人である淡路島観光協会を中心に、県、市、関係団体等もそれぞれ実施主体となって相互に協力して推進する ◆淡路島観光協会のDMO機能（デスティネーションマネジメント/デスティネーションマーケティング機能）の更なる強化を図る ◆淡路県民局、洲本市、南あわじ市、淡路市及び淡路島観光協会が構成する「淡路島観光戦略会議」が、観光戦略の重要な取組の方向付けや検証を行う ◆「淡路島観光戦略会議」の構成団体自身の取組に加えて、民間企業・団体の取組や大型イベント実施主体、広域連携団体等の取組に関する情報収集に努め、連携して観光戦略を推進する ◆日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の考え方や基準を取り入れつつ取組の推進を図る	観光協会ツアーの実施（自主財源確保対策）	・自主財源確保に向けて、観光協会企画募集型ツアーを企画・造成・販売する。	観光協会	会員施設、関連事業者	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・「明石海峡大橋塔頂体験・クルージング」販売実績：3日間（7/30、9/10、9/24） 計88名 料金：大人11,000円 ・「チャータークルーズプラン（友が島・黒潮市場）、（明石海峡大橋塔頂・高級寿司）」販売実績：なし			
	観光戦略推進人材、財源確保に向けた協議	・観光戦略を推進するため、必要な組織体制・人材（民間企業からの出向、又は観光協会直接雇用）と財源の確保について協議する。	県、3市、観光協会	関連事業者、団体	実施	実施	実施	実施	実施	交流潟湖課（観光）	観光戦略を効率的・効果的に推進するため、淡路島観光戦略会議等において、必要な組織体制・人材と財源の確保について検討していく。			
	淡路島観光客満足度調査、消費単価、域内調達率等の調査	・登録DMOとして収集分析が必要な「来訪者のリピーター率」及び「観光客満足度」をインターネットによるアンケート調査を実施する。 ・満足度調査に合わせて、消費単価についての設問を追加し、調査を実施する。 ・域内調達率については、1泊2食のサービスを提供する宿泊施設の食材調達の状況の調査を実施する。 ・観光に対する住民理解度については、県民意識調査（淡路地域分）の中で把握する。	観光協会		実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	・満足度調査（令和5年3月）に合わせて、消費単価質問を追加設定 日帰り：2万円 宿泊：4.4万円 ・域内調達率調査 10月実施予定			
	JSTS-Dの理解・推進	・JSTS-Dに準じたサステナブルツーリズムセミナーを開催し、島内観光業界関連行政・団体・事業者の理解推進を図る。	県、3市、観光協会	関連事業者、団体	実施	実施	実施	実施	実施	観光協会	サステナブルツーリズムをテーマにした専門家などによる講演を、理事会の機会を軸に開催時期・内容等を協議する。			
	【再掲】JSTS-Dのガイドラインを活用した目標設定と推進	・先行事例の取組調査を行ったうえで、淡路島総合観光戦略とJSTS-Dのガイドラインが合致する項目を抽出する。 ・現状分析とあわせて、推進状況を自己分析するツールとしてJSTS-Dを活用する。	観光協会、県、3市	観光協会会員	準備	実施	実施	実施	実施	交流潟湖課（観光）	淡路島総合観光戦略で取り組むアクションプラン141項目に対し、JSTS-Dガイドラインに対応する項目を確認中	○		